

どうなってるの どうするの

7人の議員が一般質問

アスベスト対策「今後の対応は」

総務課長―分析調査の結果を待って

松本 典子議員



質問 西川小学校の体育館は古く、舞台の壁がはがれ、雨漏り等で壁が落ち「アスベストが使用されているのでは、何とかしなくては」と言って6年が経過しました。しかし、体育館はそのまま使用されてきました。そして今年8月使用禁止となりましたが、大事なことは、この飛散状況について、保護者にどのように説明され、今後どのように対応されるのか。

所・親・先生も含め、アスベストが事実西川小学校にあった経過を長期間保存していく体制をとって頂きたいが。

教育長 卒業生、先生たちがアスベストの被害を受けていないか、その健康についてどうするか、アスベストの調査結果がわかり次第、対応を考えていきます。

当町で使用されているアスベストの色は

教育長 8月28日の親子共同作業の際、校長が本校体育館の天井と壁にアスベストと疑わしき吹付けがされているので、調査結果が出るまで児童の安全を優先して、使用を禁止することを説明しました。

また、9月1日には、文書をもって、それぞれの保護者にこのことを通知しています。

来年1月末の調査結果がわかり次第対応を図っていきます。

質問 私が危機感を覚えるのは、アスベストが飛散していると考えからです。

アスベストは、潜伏期間が30〜40年と長いので、この十数年をさかのぼり、子どもの名前・住

質問 アスベストには、白、青、茶があります。昭和60年に青が、平成5年に茶が使用禁止となり、白はクリソタイルと言って、昨年10月まで使用されてきました。

当町で使用されているアスベストの色は何色ですか。

総務課長 アスベストは、鉱石の色で6種類あり、わが国では3色が使用されてきました。

このアスベストは、髪

の毛の5千分の1の小さな繊維状で、見た目ではなかなか判断できません。現在行っている調査の結果を待たないと判断できません。



クリソタイル(白石綿)



クロシドライト(青石綿)



アモサイト(茶石綿)

問題となっているアスベスト

食育の推進と学校給食の果たす役割は

教育長—給食活動で豊かな心を育成

岡崎 邦博議員



育を推進する上でデメリットになるのでは。

質問 今年7月に制定された食育基本法により、国は食育を推進するため、地産地消を促進し、

自校方式による学校給食の教育的効果について調査研究しようとしているが、町は学校給食が果たす役割をどのようにお考えか。

また先日答申された行政改革集中改革プラン案に学校給食は19年度から業者施設を使用した民間委託を行うと述べられているが、民間委託は食

町長 地産地消は生産者との協議が必要だが、一年間安定して品物を供給できる体制や価格に大きな格差があるとなれば難しい問題がある。給食センターは改築の時期が

育を推進する上でデメリットになるのでは。

教育長 児童生徒が学校給食で食に関する知識や食を選択する力を身につけ、健康で生き生きとした生活を送ることを目指すとともに、給食活動を通して豊かな心を育成し、社会性を涵養することだと考えています。

近く来るが、保護者の意見も聞いて取り組むことも必要だと思えます。

老朽化した学校施設の改修は

質問 児童生徒が年々減少している中で、耐震化やアスベスト対策など校舎や体育館の早急な改修、改築や建て替えなどが必要だが、今後どのように取り組まれるのか。

町長 大規模改築も一つの手法だが、かなりの事業費が伴うので、財政状況が好転しない限り難しく、補助金のある耐震によつての増改築をやるべきと考えています。



給食センター

肺炎球菌ワクチン接種の公的助成を

町長—避けて通れない問題と思うが、もう少し時間がほしい。

成を。

健康増進課長 肺炎球菌の予防接種に公的助成をしているのは、現在15市町村です。それも東北など雪深い地域が中心であり、九州ではまだありません。

今後、県下各市町村の動向を見ながら検討していきたい。

質問 九州では長崎県がやっている。実施したところでは医療費が削減できたという報告があるのでぜひ実施していただきたい。

町長 年々肺炎球菌による肺炎が増加している

のは承知しています。この問題は避けて通れない問題だと思いますが、もう少し時間を貸していただきたい。

福祉移送サービスの土日の利用を

質問 身体障害者の福祉移送サービスは、土日は休みで利用ができません。制度がある以上、利用しやすいように改めるべきと思うが。

町長 今後、希望に沿った形で、実施者である社会福祉協議会などと協議を重ねながらやっていきます。

質問 肺炎による死亡が増加しており、特に高齢者の肺炎が急増している。また、肺炎の半数近くが、肺炎球菌が原因とされているが、その予防接種の負担が重い。肺炎の予防によつて医療費の節減につながる。公費助



花田すまこ議員



鞍寿の里の移送車

第3日曜日も町内体育施設の利用を

教育長一前向きに検討

質問 町外の利用者が増えていますが、町内施設ですから、町民の利用が優先されるように検討を。

社会教育課長 町内町外とも使用料は無料で、

照明料金のみ徴収しています。

今後、行財政改革施設専門部会の中で使用料金の徴収を検討していきます。

教育長 第3日曜日の使用について、前向きな姿勢でしっかり検討していきます。

質問 テニス場の練習コートは、当初1千万円

以上かけて土のテニス場として整備されましたが、ほとんど利用されていません。フットサル場など、他の利用方法を考えては。

社会教育課長 体育指導員、社会教育委員などの付属機関の意見も聞いて考えていきます。

質問 スポーツの振興や青少年育成などのためにも、第3日曜日も体育施設を利用できるようにするべきでは。



宇田川 亮議員

質問 町民グラウンドの町内外の利用状況は。

社会教育課長 平成16

年度は、町内63360名、町外1万4838名、合計で2万1198名となっており、約70%が町外の利用者です。



ほとんど利用されていないテニス練習場

町民との一体感を高める 出前講座の実施を

町長一ルール化を検討してみたい

香原 暹議員

とに加えて、職員にとっても大変勉強になるということです。ぜひ制度として、確立しては。



質問 町政を進める上で、大事なことは町民との一体感です。町が直面している財政難を乗り越えるためにも、住民との対話が欠かせない。そのため的手段として、出前講座を実施してはどうか。

町長 要請があれば、積極的に出向いて説明をする考えはある。

質問 出前講座を実施するということは、住民との相互理解が深まるこ

とに加えて、職員にとっても大変勉強になるということです。ぜひ制度として、確立しては。

町長 町づくりや将来の基本計画を立てるにしても、住民との対話が必要だと思う。ルール化を検討してみたい。

質問 旅費や人件費を加えると膨大な予算を使っている。この種の事案は昭和54年に、最高裁判例があつたが、案の定敗訴となつた。

学校管理上の問題はあろうが、組合の活動も保障するというのも大事なことだ。教育長は責任をとってやめるということとは考えないのか。

教育長 責任は感ずるが、これらの決定はすべて、教育委員会に諮って決めたことです。教育委員会です。責任を取りなさいということになればさうします。

福教組損害賠償請求事件敗訴の責任は

質問 剣南小学校で、

福教組のオルグ活動に学校を貸さないとした決定に対する、損害賠償請求事件が敗訴となつたが、裁判に要した費用は。

教育長 訴訟費用、弁護士費用、それに損害賠償金を含めて、155万円余りです。

町民との対話の場を設ける



大谷自然公園の進捗状況は

建設課長—本年3月末完成予定です

毛利

喬議員



質問 現状はどこまで完成しているのか。またハンガローにトイレがなく、管理棟までは約20メートルあるので、野外のトイレを設置してはどうか。

建設課長 本年度は研修棟、野外の炊飯場、遊歩道の舗装と外溝工事を予定しており、18年3月に完成の予定です。野外のトイレは体験研修施設の横に作る予定です。

質問 6月議会で質問した際には所管課はまだ決まっていなかったが、どうなっているのか。

建設課長 公園全体の維持管理を建設課が、青少年育成、生涯学習の場となる研修棟等の施設管理運営は社会教育課が所管するよう協議をしています。

質問 利用目的に沿った対象者は。また、1年間続けて自然公園を開設するのか。

建設課長 対象は地域住民、町内企業の勤労者とその家族、小中学校の児童生徒、町内の子ども会、近隣市町の住民も対象とします。
公園全体としての利用

期限は一年中を。宿泊施設は小中学校の夏休みを考慮し、7月から9月までを考えています。

質問 警備については、猪や野犬もそうだが、人里離れた山奥なので、人的な傷害等が起こることが一番心配だが。

建設課長 7月から9月までは、常時警備員1名を配置します。キャンプや宿泊利用がある場合は、警備員2名を配置して24時間体制をとります。それ以外の期間や夜間は、機械警備で対応します。



3月末完成予定の大谷自然公園

児童・生徒の安全対策は

教育長—それぞれの学校ごとに調査、対応している

福本

博文議員



質問 子を持つ親として子どもたちの尊い命を落とす卑劣な犯罪が連続して起きています。再発防止に地方自治体をあげて取り組むべきです。小中の登下校時の実態と安全対策は。

教育長 各学校において通学路を巡回し、危険箇所の再確認を行い、登校時にはそれぞれの場所に先生方が立って子どもたちを見守り、下校時刻には校長をはじめ、先生方がその場所を重点に巡回しています。

また、警察にも協力を得て、パトカーによる巡回も行っています。

学校では、子どもたちに一人で帰らず、必ず集団で帰るように指導もしています。

質問 一番事故が起こっているのは下校時です。宮田町は見回り隊を発足しました。官民一体となつて子どもたちの命を守っていただきたい。

教育長 今の状況を継続して、事故のないように安全確保に全力を尽くします。



危険箇所の一つ（室木の縦貫道ガード下）

第4次マスタープランの進捗状況は

質問 新第4次マスタープランは、1年間待つて欲しいという答弁がありました。行政の空白を生みます。町運営の空白についてどう考えているのか。

町長 空白を作ることには好ましくないと考えますが、今回の新しい計画は、本町が打って出る、本町をPRする条件が可能になって来ていますので空白期間を活かしながら町づくりも一つの方法ではないかと考えています。